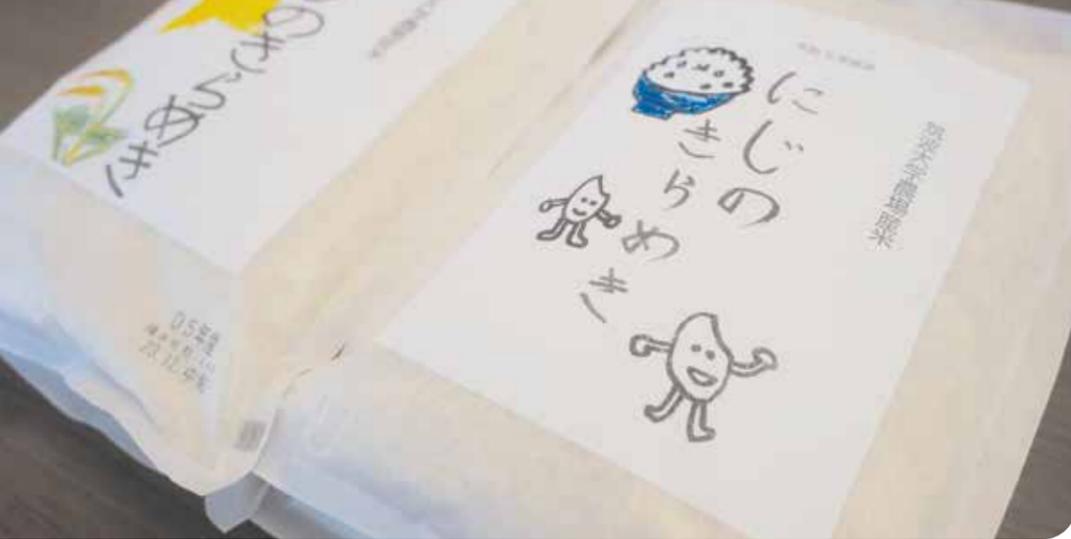


ワンパーセント
イオン1%クラブ

活動季刊誌



日本とベトナムの高校生が、ベトナムの世界遺産であるタンロン遺跡を訪問(ティーンエイジ アンバサダー)



活動
レポート
2

苗からお米を育て、
店舗で販売する。



2023年12月16日(土)、イオンチアーズクラブカスミつくばのメンバー31名が、BLANDE 研究学園店で、苗から育てたお米の販売を行いました。

このお米は、筑波大学「コロロ」の農場のご協力のもと田植えから稲刈り、脱穀までを子どもたちが行いました。天日干しでうまみがギュッと詰まった、甘みの強い「にじのきらめき」という品種です。

子どもたちは、お米の袋にオリジナルイラストを描き、売場での呼びかけや試食などを行い、127袋ものお米を販売することができました。

子どもたちは、「お客さまに話しかけるのが大変だったけど、慣れたら楽しくなってきた。」「試食して、買ってもらえたのが嬉しかった。」「販売の大変さと楽しさを実感した様子でした。」



いらっしませー!



おいしいお米です!



実際に見て、触れて、考える

AEON イオンチアーズクラブ活動レポート
Cheers Club Report

イオンチアーズクラブとは
小学生を中心とし、環境や社会に興味・関心を持ち、考える力を育む場として、全国400店舗を拠点にさまざまな体験学習を行っています。

活動
レポート
1

薬剤師の仕事について学ぶ。



お仕事体験
がんばるぞ!

2023年11月26日(日)、イオンチアーズクラブウエルシアしずおかのメンバー14名が、調剤薬局で、薬剤師の体験をしました。

薬剤師の皆さんからお仕事の内容を紹介していただいた後、ジュースやチョコレートクリームを薬の代わりにして、シロップの調合や、軟膏づくりなどの体験をしました。

最後に、メンバーひとりひとりに修了証が手渡され、薬剤師という職業の楽しさや、やりがいについて学んだ一日となりました。



おもしろい!



右記のコードを読み取ると朝日中高生新聞の掲載紙面をご覧ください。



金賞を受賞した10作品の全文が「朝日中高生新聞」紙面に掲載されました。また、審査員からのメッセージや、表彰式の翌日に行われた環境エッセイのレポートも掲載しております。中学生が地球環境のためにいまできることを考え、思いを込めて書いた作文をぜひご覧ください。

考えをまとめ、書く力を養う 中学生作文コンクール

中学生作文コンクールとは
中学生が、社会問題をテーマに自分自身の考えをまとめ、書く力を養うことを目的に、2003年から実施しています。今年、「地球環境のために今できること」というテーマで、7,787件の作文が寄せられました。

金賞

テーマ 地球環境のために今できること

- 「世界環境ラジオ・フォーラム開催」
富山県富山大学教育学部附属中学校3年 梶原悠生
- 「ファストファッションの行方から考える」
アメリカ Space Center Intermediate School 1年 加藤志季
- 「地球に恩返しを」
長野県富士見町立富士見中学校1年 橋田杏
- 「みんなでつくる地球」
長崎県長崎市立山里中学校3年 黒川海空
- 「台所から始めてみよう」
岩手県奥州市立水沢中学校3年 竹花紀恵
- 「地産地消で明るい未来を」
愛媛県愛南町立御荘中学校3年 古川夏羽
- 「二つだけ、ゴミを拾ってみませんか？」
愛媛県西条市立西条東中学校2年 村上瑠梨
- 「未来を救うシュレッダーゴミの再利用」
福島県葛尾村立葛尾中学校1年 山崎陽向
- 「エンカルなカエルになるために」
埼玉県星野学園中学校2年 湯本千穂
- 「里山の魅力の復活を」
兵庫県関西学院中学校3年 吉岡明衣子

銀賞

- 「エアコンと地球温暖化の負の連鎖」
北海道札幌日本大学中学校2年 井川ありす
- 「小さなこだわりが世界を変えることを知った」
長野県上田市立第四中学校2年 石井湊士
- 「旅先から学ぶ」
神奈川県慶應義塾普通部2年 今井康太
- 「エンカル」の視点を持って」
山口県萩光塩学院中学校1年 岡本唯花
- 「継続的な学習基盤が未来を変える」
韓国ソウル日本人中学校3年 五味愛琳
- 「おもてなし」の意識を変える」
群馬県伊勢崎市立境西中学校2年 塩尻彩月
- 「自然と共生するために」
岩手県岩手県立一関第一高等学校附属中学校3年 滝澤亜子
- 「おいしく食べるとエコになる」
大阪府貝塚市立第五中学校1年 富士田夏希
- 「意識と疑問を持ち続ける」
愛媛県今治市立朝倉中学校3年 渡邊琉愛

銅賞

- 「身近なことから」
熊本県熊本市立力合中学校2年 石田巨陽
- 「自然の破壊」
岩手県岩手県立一関第一高等学校附属中学校3年 及川純怜
- 「守ろう！地球の生態系」
富山県上市町立上市中学校2年 齊藤綾香
- 「多目的にそして未来に」
栃木県宇都宮市立委川中学校1年 鈴木透真
- 「山の環境問題への山小屋の取り組み」
兵庫県西脇市立西脇南中学校3年 達可くるみ
- 「今私達にできることを」
茨城県古河市立総和中学校2年 中村妃茉莉
- 「ゴミが落ちていない世界に向けて」
福岡県福岡市立福岡中学校1年 福岡星那
- 「小さな「出来ること」」
東京都田園調布学園中等部2年 福本莉奈
- 「海の宝石から学んだこと」
奈良県王寺町立王寺北義務教育学校9年 宮本優花
- 「プラスチックに透ける地球の未来」
北海道札幌日本大学中学校2年 山岸莉音

受賞おめでとう！



おいしいいちご採れました！



活動レポート
3
2024年1月13日(土)、イオンチアーズクラブ南越谷、吉川美南、春日部の3クラブメンバー19名が、越谷いちごタウンで、いちごの収穫体験をしました。
「かおりの」という品種のいちごを、苗の定植から大切に育ててきました。「自分で植えたいちごが一番美味しかった。」ちゃんと収穫できるまで育ってくれて良かった」と、試食をした子どもたちの顔が笑顔で溢れました。

苗の定植から収穫まで、いちごの栽培を体験する



イオン チアーズクラブ メンバー募集中！

- Q お金はかりますか？
A 入会金・年会費はかかりません。
- Q どこで活動していますか？
A 所属するクラブを拠点に、山・畑などで活動します。

入会をご希望の方は、こちらのコードを読み取り、新規登録フォームから申請をお願いします。
<https://aeon1p.or.jp/aeoncheersclub/ja/register>



一緒に学ぼう！



普及・啓発部門 内閣総理大臣賞
**「養豚業のゼロミッション
 #産業廃棄物に輝きを」**
 熊本県立熊本農業高等学校 養豚プロジェクト



研究・専門部門 内閣総理大臣賞
**「家畜昆虫コオロギで環境と経済にエコ」
 ～世界の食糧問題解決へ～**
 鹿児島県立市来農芸高等学校 自主研究班

普及・啓発部門 文部科学大臣賞
**「捨てればごみ、活かせば資源！」
 ～美しい地球を次世代に～**
 大阪府立堺工科高等学校定時制の課程
 エコ・プロジェクト部

研究・専門部門 環境大臣賞
**「ルプリンの抗菌力と
 ソーセージ開発に関する研究」**
 岩手県立花巻農業高等学校 ソーセージ研究班

普及・啓発部門 イオンワンパーセントクラブ賞
**「大手川で育ち、大手川を育て、
 大手川を未来へ繋げる」**
 京都府立宮津天橋高等学校 フィールド探究部

研究・専門部門 審査員特別賞
**「ストックマネジメント」
 ～現状の長寿命化と発展を目指して～**
 群馬県立吾妻中央高等学校 環境工学科



表彰式の翌日に行われた環境エコツアーでは、東京都の中心部にあって園内全域が天然記念物および史跡に指定されている森林緑地「国立科学博物館附属自然教育園」を見学しました。
 その後、最終審査会の審査員で、国立環境研究所室長の五箇公一先生によるワークショップを実施しました。参加した生徒たちは、都会のオアシスを堪能しながら、生物多様性と自分たちの生活環境の関係を学んでいました。

環境エコツアーを開催



高校生による環境活動のコンテスト

イオン エコワングランプリ

イオン エコワングランプリとは

高校生が、日頃学校で取り組んでいる環境に関するクラブ活動について発表し、表現力や発信力を高めることを目的に、2012年より開催しています。今年も、全国121校の高校から134件の取り組みが寄せられました。



最終審査会・表彰式を開催

12回目となる本年は、2023年12月9日(土)に東京都内の会場で最終審査会・表彰式を開催しました。全国121校の高校から、「普及・啓発部門」87件、「研究・専門部門」47件の計134件の環境保全活動に関する取り組みが寄せられ、二次審査を勝ち抜いた14校が最終審査会に臨みました。各校の発表者は、他校の生徒を前に日頃の取り組みの成果を写真や動画を使って発表し、審査員からの質問に堂々と答えるなど自分たちの活動を大いにアピールしました。
 発表後に内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・環境大臣賞など6校の選考を行い、表彰式では受賞校に賞状とエコ活動奨励金が授与されました。また、審査員による講評が行われ、各校へ激励のメッセージが贈られました。



ベトナム首相官邸にてチャン・ルー・クアン副首相への表敬

2023年は日本とベトナムの外交関係樹立50周年を迎えることを記念し、ベトナムの5校から50名、日本の5校から50名、計10校100名の高校生がプログラムに参加して、「表敬訪問」「歴史・文化体験」「交流活動」に取り組みました。

ティーンエイジアンバサダー

アジアの国々をつなぐ
友好の輪

ティーンエイジアンバサダーとは
日本とアジア各国の高校生が、互いの国を訪問し、相互理解と親交を深めるプログラムです。相手国の文化や生活習慣等に直接触れ、同世代の若者と友情を育むことで、友好親善を図り、平和に寄与することを目的としています。

2023
11 / 13 Mon ~ 18 Sat
日本プログラムを開催



岸田首相への表敬

11月14日(火)に、首相官邸訪問、国会議事堂見学、駐日ベトナム大使館訪問を行いました。
岸田首相より、参加した高校生たちに向けて「日本とベトナムの架け橋になってほしい」と激励のお言葉をいただきました。
また、駐日ベトナム大使館では、教育部長への質問会を実施した後、歓迎会を開催し、交流を深めました。
プログラム後半は、東京国立博物館の見学や着物での浅草散策等を行い、日本の歴史・文化を体験しました。また、日本とベトナムの高校生がペアとなり、授業体験やホームステイを行いました。



2024
1 / 15 Mon ~ 20 Sat
ベトナムプログラムを開催

1月16日(火)に、首相官邸を訪問し、チャン・ルー・クアン副首相から、「精一杯努力をし、自身の限界を乗り越えていただきたい。そして、高い夢や野望を持ち、自身の夢を前進させてほしい」と力強いエールをいただきました。
また同日、在ベトナム日本国大使を訪問しました。山田大使からは、「新しい時代の外交を担っていただきたい」との期待のお言葉をいただきました。
日越大学の古田学長より現在に至るまでの日越関係の歩みについてのご講義をいただき、この他、ベトナムを代表する史跡や街並み巡りを行いました。また、オペラ「アニー姫」の特別歌唱、ベトナム料理教室を通じて文化に触れました。
交流活動では、ハノイとホーチミンの2都市に分かれて授業体験やホームステイを行いました。今回のプログラムを通して、高校生たちは、相手国について深く理解し、国境を越えた友情を育むことができました。イオンワンパーセントクラブは、これからも国際的な文化・人材交流の機会を提供していきます。



駐日ベトナム大使館で開催した歓迎会にてベトナムの高校生がパフォーマンス

CHEER UP
NOTO!

イオン1%クラブは 能登半島の復興を応援しています。

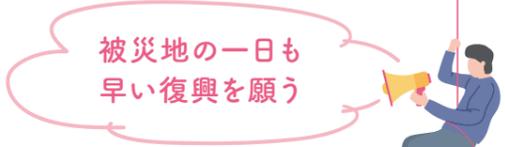
石川県に2024年2月26日(月)、富山県に2月27日(火)、新潟県に3月6日(水)、被災地域の日も早い復興を願い、計2億円の支援金を寄付しました。

支援金は、各自治体を通して、被災された皆さまの支援にお役立ていただけます。

当財団は、事業の柱の一つとして、緊急災害の発生に際し、いち早く支援金や支援物資をお届けするとともに、被災地の復興に向けた支援活動を続けて来ましたが、

上記3県では、避難生活を余儀なくされている方をはじめ、今もなお不便な生活をされている方が数多くおられます。被災された皆さまが、一日も早く平常の生活に戻られるよう、引き続き支援に取り組んでまいります。

令和6年能登半島地震に対する
支援金2億円の寄付



緊急災害復興支援とは
大規模災害により被災した方々が、日常の生活を一日でも早く取り戻せるよう、復旧・復興活動にお役立ていただくため、迅速な緊急支援金の寄付等を行っています。



首里城 復興支援



支援金1億円の贈呈式と
ポスターコンクール
表彰式を開催

2019年10月末に世界遺産である首里城が火災により甚大な被害を受けたことに対して、当財団は5年間で5億円の寄付を行うことを表明し、支援を続けて来ましたが、

4回目の寄付となる本年は、2023年11月3日(金・祝)に首里城公園で沖縄県に支援金1億円を贈呈しました。

本年は、全国の子どもたちが「首里城」を描くことで復興を支援するとともに、歴史ある文化遺産について学ぶ「イオンチアーズクラブ 首里城復興支援ポスターコンクール」受賞作品の表彰式を同時に行いました。

また、表彰式会場には、全国から寄せられた465点の想像力豊かで色鮮やかなポスターのうち、受賞作品および沖縄県内のイオンチアーズクラブメンバーが描いた作品計49点が展示されました。



左から富山県 県知事 新田 八朗 様
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ 事務局長 本田 陽生

支援金合計額 2億円		
石川県への贈呈	富山県への贈呈	新潟県への贈呈
2024年 2月26日(月)	2024年 2月27日(火)	2024年 3月6日(水)
贈呈金額 1億6千万円	贈呈金額 2千万円	贈呈金額 2千万円



右から沖縄県 県知事 玉城 デニー 様
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ 理事長 森 美樹



財団概要

イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、グループ各社の参画のもと、1990年に設立されました。

以来30年以上にわたり、お客さまにイオングループをご利用いただき、生まれた利益の1%相当額をもとに、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」「災害復興支援」を主な事業領域として、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。



ご寄付のお願い

次代を担う子どもたちのために、皆さまのご支援をお願いいたします。

イオンワンパーセントクラブでは、子どもたちの教育や国際交流、地域文化の保全などの活動に取り組んでいます。なお、当財団は、内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けておりますので、当財団への寄付金については、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。当財団より、ご寄付の領収証をお送りいたしますので、申告の際にご使用ください。今後、私たちの活動内容をさらに充実させていくために、ぜひご寄付をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

ご寄付の方法

現金での銀行振込 クレジット決済 WAON POINT

右記のコードを読み取り、寄付受付画面にお進みいただき、ご寄付の方法をお選びください。



※個人の方が控除を受けるには、現在、年末調整をされている方でも、確定申告が必要となります。詳しい内容につきましては、最寄りの税務署にお尋ねいただくか、国税庁のホームページでご確認くださいようお願いいたします。

編集後記

このたびの令和6年能登半島地震で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

第5号では、首里城復興支援ポスターコンクール表彰式の様子などをお届けしました。復元工事中の首里城を見学し、「復元を応援したい」「完成したらまた来たい」と、楽しみながら学ぶ子どもたちを間近で見ることができました。今後とも「イオン1%クラブ」をよろしく願っています。

(橋本)



公益財団法人

ワンパーセント

イオン1%クラブ

[発行元] 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1

Tel 043-212-6023 Mail 1p@aeon.info

右記のコードを読み取り、当財団の活動詳細をご覧ください。

<https://aeon1p.or.jp/1p/>

